

次亜塩素酸噴霧器+ジアファイン



殺菌性次亜塩素酸
Jia Fine®
ジア ファイン

空間除菌消臭噴霧器
次亜塩素酸のチカラ

いつもご注文いただいているジアファインを
水道水で希釈して使用するだけ！！
今なら希釈用 2L ジョッキも付いてくる！！

3つの効果

除菌

消臭

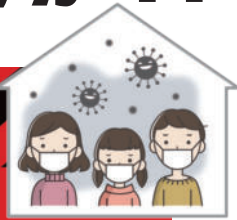
加湿

ウイルス・細菌
カビ・花粉対策など
幅広い除菌範囲で
効果を発揮します。

ニオイの
原因物質を
不活性化させ
無臭成分へ変化
させるため
ニオイの元から
絶ちます。

加湿病の心配
もなく、空気中の
ウイルスなどを
除去し乾燥から
お肌や喉を
守ります。

エアロゾル対策してますか!?



DANGER!

換気不十分⇒ウイルスが滞留しやすく感染リスクが高まる

特に
夏・冬の

こまめな換気は非現実的



空气中を浮遊している菌やウイルスは口や眼、鼻などの粘膜を通して感染します。
菌やウイルスを滞留させないように十分な換気ができればよいのですが
換気を日々のルーティンにすることや特に夏場や冬場の換気は難しく非現実的です。

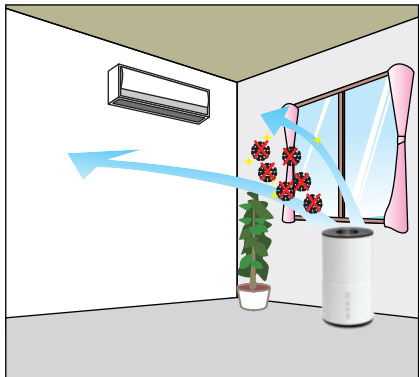
そこで... 対策法はこれだ!!



次亜塩素酸噴霧器+ジアファイン

- ✓換気がしにくい場所でも安心!
- ✓エアコン使用時の乾燥も防げます!
- ✓菌・ウイルス対策+ニオイ対策にも!

次亜塩素酸の効果と安全性検証



換気が不十分なところでも簡単に安全に対策ができるのが「次亜塩素酸噴霧器」です。

厚労省から次亜塩素酸水の空間噴霧を認める通達が出されました！ 厚労省通達「次亜塩素酸水の空間噴霧解禁」！

「エアロゾル感染」対策を！

夏や冬に感染者が増える傾向にあるのは、エアコンを使用することでこまめな換気が不十分となり、空気中のウイルスが滞留しやすくなるからです。すなわち「エアロゾル感染」が原因と考えられます。

▶ 安全性試験にて実証済。あらゆる環境において安心してご使用いただけます。

ジアファインで

実証!



●急性眼刺激性試験
検査機関：薬物安全性試験センター
試験は実際の使用状況を想定し、緩衝法弱酸性次亜塩素酸200ppmにて実施。本試験条件下において



眼刺激性は認められず
本被験物質の眼刺激性評価区分は無刺激、クラス0と結論された。

●急性吸入毒性試験（全身暴露）
検査機関：薬物安全性試験センター
試験は実際の使用状況を想定し、ジアファイン200ppmを2倍希釈（100ppm相当）にて実施。「ジアファインミスト」実機を使用しての噴霧安全性試験。試験法：山下法
以上の結果より本試験条件下において本被験物質に **急性吸入毒性は認められなかった。**



●空気中の塩素ガス濃度
試験機関：北里環境科学センター
ジアファインを用いて50ppm濃度で試験
空間中の塩素濃度：90分間噴霧し続けて **基準値を大きく下回る0.05ppm以下**（検出限界）
（日本産業衛生学会及びFEUリスクリスク評価書で定める安全基準：0.5ppm以下）



●食品衛生法上の食品製造用水
検査機関：環境未来総合センター（厚生労働大臣登録水質検査機関）
水質検査試験を実施し **食品衛生法「食品製造用水（旧：飲用適の水）」に適合**することを確認。



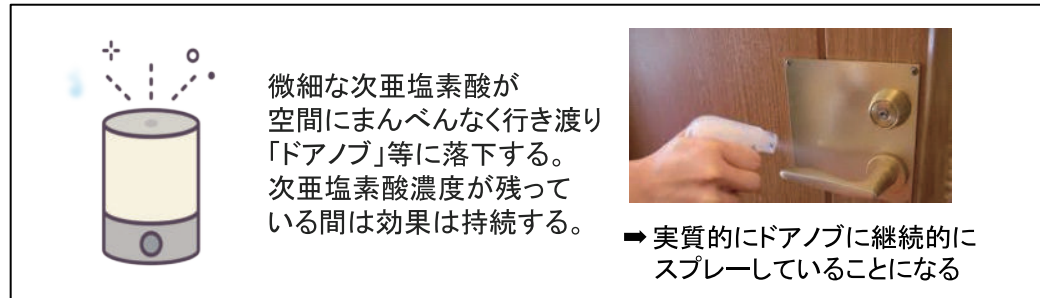
●皮膚一時刺激性試験
検査機関：薬物安全性試験センター
試験は実際の使用状況を想定し、緩衝法弱酸性次亜塩素酸200ppmにて実施。本試験条件下において



健常皮膚ならびに損傷皮膚ともに刺激性の反応はみられず
皮膚刺激性評価区分は無刺激物と結論された。

次亜塩素酸は浮遊菌だけでなく、付着菌・落下菌も対応！

次亜塩素酸を空間噴霧させた場合、空気中にはもちろんのことドアノブなど部屋の物品に付着した菌やウイルス、また床面に落下した菌・ウイルスにも



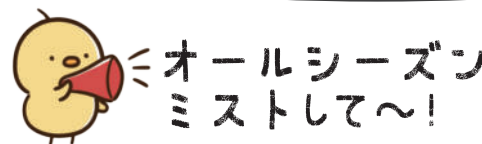
微細な次亜塩素酸が空間にまんべんなく行き渡り「ドアノブ」等に落下する。次亜塩素酸濃度が残っている間は効果は持続する。

→ 実質的にドアノブに継続的にスプレーしていることになる

→ 換気も感染対策に重要です。但し浮遊菌には有効ですが付着菌や落下菌の除去まではできないので、次亜塩素酸等で対処する必要があります。

次亜塩素酸超音波噴霧の重要性

次亜塩素酸は、空気中の菌・ウイルスに対して効果もありますが、物品の表面に付着する菌・ウイルスに対する効果もあります。



三重大学 大学院 生物資源学研究所
福崎智司教授



次亜塩素酸研究の第一人者

超音波式の噴霧器は次亜塩素酸を細かい粒子に乗せて運んでくれます。これにより、空間に漂う菌・ウイルスに対して「継続的」な効果が期待できます。

新型コロナウイルスは**季節（シーズン）**による流行ではなく、**変異を繰り返しながら、環境条件により感染が起きることがわかっています。**

噴霧器をご活用いただき年間を通して対策することをおすすめします。